

支援部だより

堺市立上神谷支援学校

支援部だより No. 1

2024. 7. 3 発行

○特別支援学校におけるセンター的機能とは・・・

地域において特別支援教育を推進する体制を整備していく上で、特別支援学校は中核的な役割を担っています。上神谷支援学校においても、専門性を生かしながら堺市立の幼稚園、小中学校、高等学校に積極的に支援していき、特別支援教育の輪を広げていきたいと思えます。

上神谷支援学校のセンター的機能の取り組み

1. 外部専門家派遣事業（学校園からの申請による）

→ST（言語聴覚士）、OT（作業療法士）と本校支援部職員が訪問します。

- （1）堺市立学校園に通う幼児、児童生徒への指導、支援
- （2）堺市立学校園に通う幼稚園、小中学校、高等学校の担任等への研修として
- （3）幼稚園、小中学校の校内職員研修として
- （4）公開研修会の開催…外部専門家派遣事業の一環で特別支援教育に関する研修の場として、公開研修会を行います。

2. 他校園教育相談の実施

（1）訪問教育相談（学校園からの申請による）

→本校支援部職員が訪問して相談に応じます。

- （2）来校相談
- （3）電話相談

※各校園の窓口である特別支援教育コーディネーターと連携しながら取り組んでいます。

3. 他校園職員研修への協力（学校園からの申請による）

（1）本校支援部職員が校内研修に参加します。

①講師として

②研究授業等の助言者として

（2）外部専門家派遣事業として実施することも可能です。（「1. 外部専門家派遣事業」参照）

4. 学校園への教材等の紹介や貸出

（1）書籍、支援グッズの紹介・貸出

（2）教材教具の紹介・貸出

（3）検査道具の紹介・貸出

5. 情報発信

（1）支援や教材、それらの工夫等の紹介

（2）外部専門家派遣相談内容の紹介

本校ホームページ「支援部だより」にて

6. 学校見学会の実施

本校の概要説明や施設見学を通して、特別支援教育に関する相談・情報提供の機会としています。



昨年度も幼児、児童生徒のニーズに応じた支援・指導を充実させるために、様々な形で地域の学校園の教員や保護者に対する取り組みを進めてきました。

訪問教育相談について

堺市では、支援学校のセンター的機能の一環として、地域の学校園からの依頼に基づき、本校の職員が訪問して相談に応じる、『訪問教育相談』を実施しています。

『訪問教育相談』では、対象の幼児、児童生徒の様子を観察し、支援の方向性を学校園とともに考えさせていただきます。



特別支援学級の授業づくりについて悩んでいる。

今の指導が児童生徒の実態に合っているのか不安。



話している人に注目できずじっと座ってられないのはなぜなのだろう？

保護者の方の悩みや相談に専門的な観点からアドバイスをしたい。

訪問教育相談・外部専門家派遣事業の活用

外部専門家派遣 相談事例《言語聴覚士 (ST)》

- ・発音が不明瞭で聞き取りにくい。
- ・あまり噛まずに食べることが多い。咀嚼力をあげる方法を教えてほしい。
- ・子どもたちとのコミュニケーションの取り方について。
- ・今の段階でどのような学習内容や学習方法が適しているのか教えてほしい。
- ・子どもに応じた見通しの持たせ方について。

外部専門家派遣 相談事例《作業療法士 (OT)》

- ・全身の筋力が弱く姿勢を保持することが難しい。学校生活で姿勢を保つためにできる工夫を教えてほしい。
- ・感覚過敏や睡眠のリズムについて。
- ・他児への衝動的なかわりなどに対する指導方法を教えてほしい。
- ・集団の中に入りにくいなどの行動面に関する指導方法について。
- ・排泄の自立に向けた支援について。